

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	ピロリ菌除菌後健康人における胃粘膜DNAメチル化レベルを用いた胃がん発生高危険群の補足に関する多施設共同前向きコホート研究
研究担当者	橋本市民病院 消化器内科 吉田 悟
目的・概要	ピロリ菌除菌後の健康人(非胃がん患者)を対象に、胃粘膜のDNAメチル化レベル定量により将来の胃がん高危険度群を捕捉し、胃がん危険度を層別化できることを証明することを目的とします。
研究対象 実施機関 実施場所等	20歳以上75歳以下でピロリ菌除菌治療を受けられた方(2013年2月以降)のうち、内視鏡検査でピロリ菌感染による胃粘膜の萎縮性変化が広範囲にある方を対象としています。ただし、無病期間が5年以内のがんの既往がある方、胃の手術を受けた方、血液を固まりにくくする薬のうち抗血小板薬を2種類以内内服されている方もしくは抗凝固薬を内服されている方などは対象外となります。当院を含めた和歌山県内の多施設にて実施。
研究期間	2018年7月19日～2027年2月18日
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報の保護等	研究にご協力いただいた個人が特定されるような情報は厳重に保護され、外部に出されることはありません。ただし、あなたのご協力によって得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにしたうえで、学会や学術雑誌及びデータベース上で発表されることがあります。
備考	